

第 1 9 在宅医療等推進事業

1 地域連携クリティカルパス開発事業

医療機関から在宅に安心して戻れる切れ目のない医療を提供するために、医療機関の機能分担と連携を図るツールとして地域連携パスについて運用を進めています。

当圏域では、平成25年度から脳卒中県内統一パス様式で運用を開始し、急性期回復期連携会議にて運用状況や課題の共有を図っています。

急性期病院と回復期リハビリ病棟病院定例会（主催：計画病院）

開催日：平成29年6月30日（金）14:00～16:30

平成29年11月10日（金）13:30～14:40

平成30年3月16日（金）14:00～16:00

内 容：・地域連携パス（脳卒中、大腿骨頸部骨折）の運用状況
・脳卒中パスのフローチャートについて
・大腿骨パスの様式について等

参加者：高島市民病院・今津病院関係者、高島保健所担当

2 在宅ホスピスケア推進事業

高島地域医療福祉ビジョン（平成24年2月策定）に基づき、医療福祉を推進する高島地域協議会を中心に高島市や高島市医師会が主体で行う在宅医療介護連携推進事業への参画、共同実施により在宅医療、看取り体制の構築に努めました。

市民公開講座の開催（滋賀ホスピスケア緩和ケア研究会、高島市医師会、高島市、滋賀県高島健康福祉事務所、高島市医療連携ネットワーク運営協議会共催）

開催日：平成29年11月19日（日）午後1時30分～午後4時00分

場 所：安曇川ふれあいセンター「ふじのきホール」

内 容：〈第1部〉特別講演 午後1時30分～午後2時10分

テーマ「癌（がん）の最期はホスピスですか？」

演者：草津総合病院 緩和ケア内科 部長 堀 泰祐 氏

座長：医療法人かおり会本多医院 理事長 本多 朋仁 氏

〈第2部〉パネルディスカッション 午後2時15分～午後4時00分

テーマ「高島で癌（がん）になったら・・・まかせてください」

座長：医療法人マキノ病院理事長 森田 豊 氏

コメンター：草津総合病院 緩和ケア内科 部長 堀 泰祐 氏

パネリスト：高島市民病院 外科部長 竹田 佳久 氏

高島市民病院 緩和ケア認定看護師 天野 明美 氏

医療法人マキノ病院 副院長 藤田 益嗣 氏

高島市医師会 副会長 前田 昌彦 氏

訪問看護ステーション連絡協議会 武内 美英子 氏

湖西介護支援専門員連絡協議会 会長 熊谷 智香子 氏

参加者：市民、医療福祉介護関係者等 122名

3 退院支援ルール評価検討事業

病院での治療から在宅療養へのスムーズな連携を図ることにより、機能維持向上と患者や家族が安心できる療養環境を早期に整備できる体制を構築する必要があることから、入退院支援を行う際の共通ルール「湖西圏域における病院とケアマネジャーの入退院支援の手引き」を作成し、病院と在宅関係者との円滑な連携の推進に努めました。

事業内容

(1) 実態調査

① 介護支援専門員への病院との連携に関する調査の実施

対 象:管内居宅介護支援事業所および小規模多機能事業所、地域包括支援センターに所属する介護支援専門員

方 法:アンケートを郵送により送付、FAXにて回答

時 期:平成29年7月5日(水)～7月27日(木)

回収率:98.7%(ケアマネ回答率)

② 湖西介護支援専門員連絡協議会にてアンケート調査結果について報告

実施日:平成29年10月5日(木) 午後3時～4時

場 所:高島市新旭 やすらぎ荘

参加者:介護支援専門員等 35名

③ 病棟師長に対するアンケート調査

対 象:管内3病院の看護師長

方 法:アンケートを持参、郵送により回答

時 期:平成29年7月5日(水)～7月27日(木)

回収率:100%

(2) 会議

① 管内3病院看護部長への聞き取り

実施日:平成29年9月21日、26日、27日

内 容:院内における退院支援ルールの活用と院内連携について
介護支援専門員との連携について

② 退院支援ルール検討会議

目 的:病院と在宅における連携の現状評価と入退院支援を行う際の共通ルール等の検討を行い、病院と在宅の円滑な連携を推進する

開催日:平成30年2月27日(火) 午前10時～12時

場 所:高島保健所 2階 大会議室

内 容:・湖西圏域における入退院支援ルールの評価検討
・その他

参加者:管内病院看護部長・病棟師長・地域連携室関係者、湖西介護支援専門員連絡協議会長、高島市地域包括支援センター職員等